



「新生ふくしま」の実現に向けて～復興の軌跡～(1/2)

令和7年8月26日
新生ふくしま復興推進本部

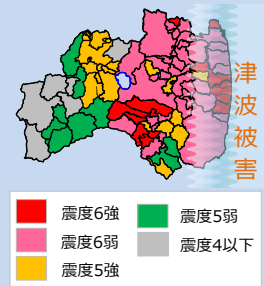
2025.8.26

福島県企画調整部
復興・総合計画課
(TEL)024-521-7109
新生ふくしま

検索

被害状況

◆県内各地の震度



2011年3月11日に発生した「平成23年東北地方太平洋沖地震」はマグニチュード9.0を記録。国内観測史上最大級の地震。地震・津波の被害とともに原子力災害が発生し、周辺住民が避難することとなった。



◆地震被害
地震被害: 須賀川市
津波被害: 浪江町

◆津波被害
津波被害: 浪江町

◆原子力災害
事故前の様子
原子力災害: 1号機建屋水素爆発 (2011.3.12)

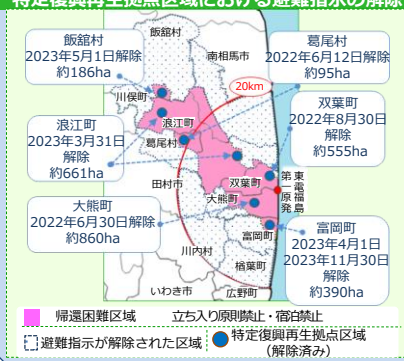
人的被害 【2025年5月1日現在】
■死者 4,179人(うち震災関連死:2,348人)

家屋被害 【2025年5月1日現在】
■全壊 15,502棟 ■半壊 84,940棟

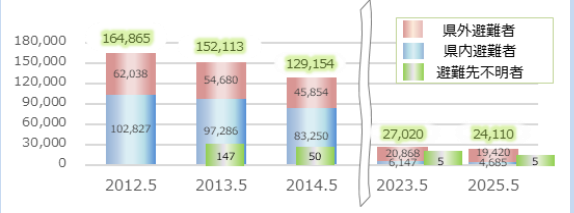
避難等の状況

帰還環境の整備により避難指示の解除が進む。
県内外の避難者数は最大約16万人から約2万4千人まで減少。

避難指示区域・特定復興再生拠点区域における避難指示の解除



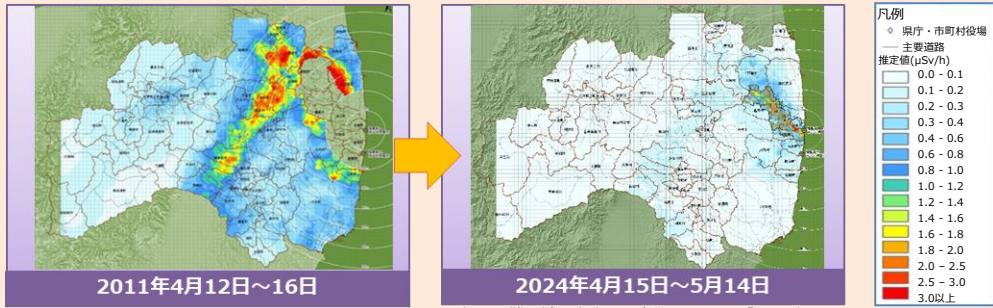
◆避難者の推移



◆特定復興再生拠点区域とは
2017年5月に福島復興再生特別措置法が改正され、帰還困難区域のうち、避難指示の解除による住民の帰還及び移住等を目指すために設けられた区域。2023年11月までに全ての避難指示が解除された。

環境の回復

◆福島県環境放射線モニタリング・メッシュ調査結果等に基づく空間線量率マップ



公共インフラの整備

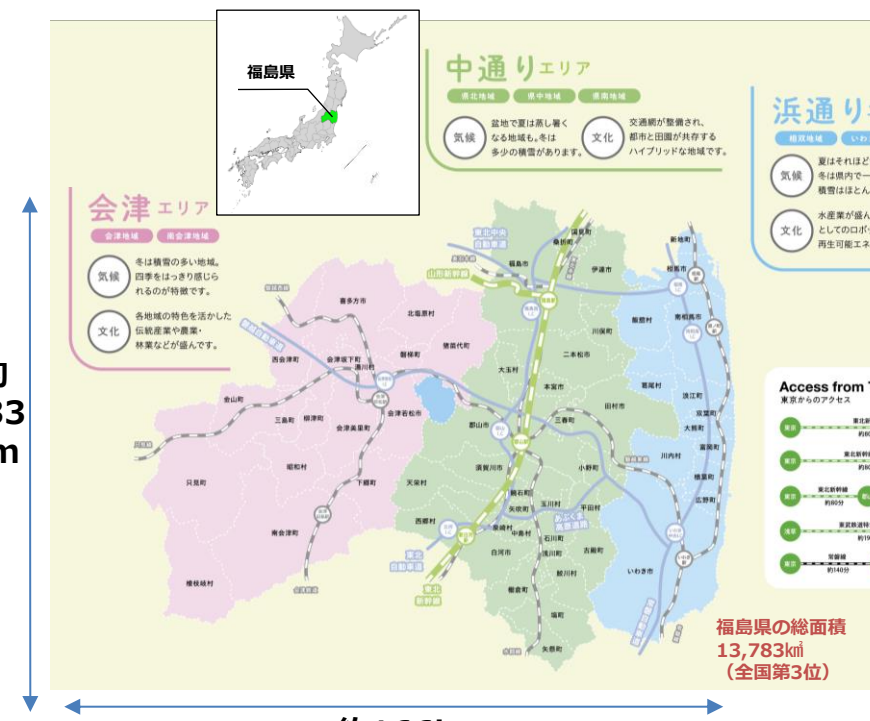
復興を支えるふくしま復興再生道路や、堤防、防災緑地などの公共インフラの整備が進む。



再生可能エネルギーの推進

再生可能エネルギー先駆けの地を目指し、再エネの導入拡大、水素社会の実現に向けた取組などが進む。

◆再生可能エネルギー導入目標 (2040年頃に100%を目指す。)



生活環境の整備・移住の促進

避難している方々の帰還環境の整備を進めるとともに、関係人口・交流人口の拡大や移住・定住の促進に取り組む。



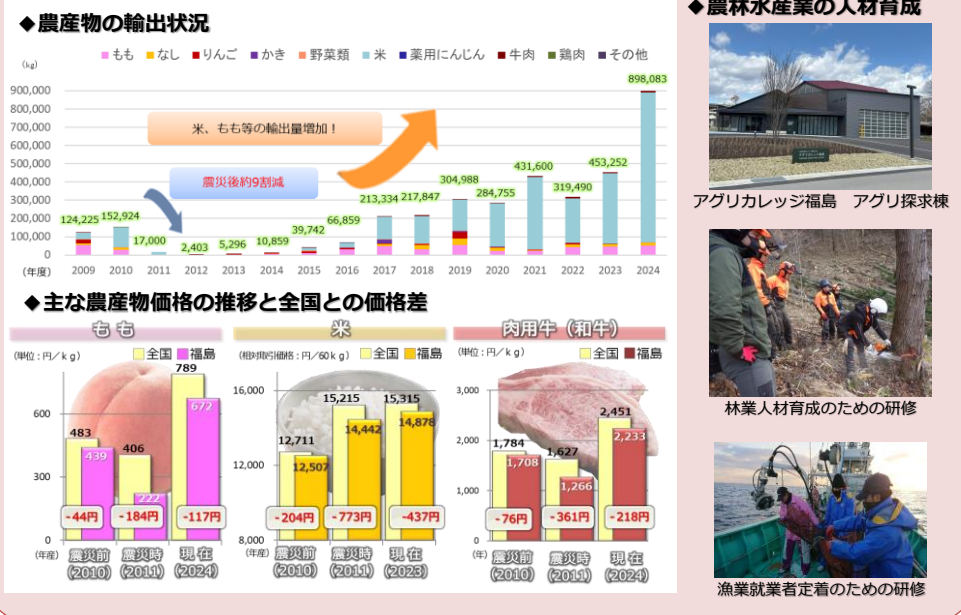
福島イノベーション・コースト構想の推進

浜通り地域等の失われた産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクト。福島イノベーション・コースト構想推進機構が、構想の具体化に向けた中核的な役割を担っている。2023年4月1日に浪江町に、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」として福島国際研究教育機構 (F-REI) が設立。



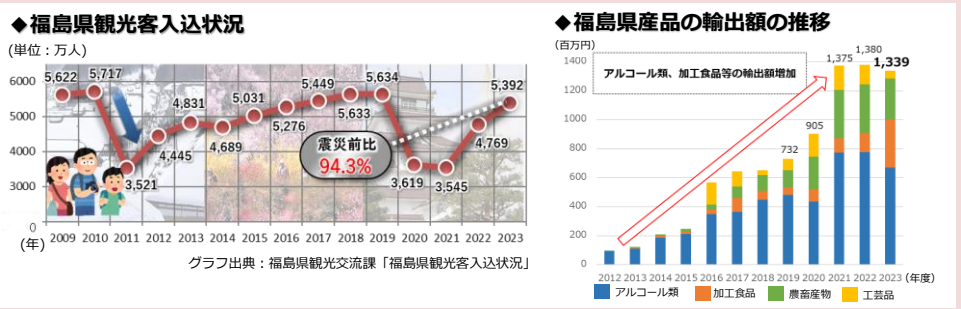
農林水産業の状況

輸出状況は震災前に比べ増加しており、2024年度は過去最高の輸出量に。一方で、県産農産物の価格は回復傾向にあるものの、全国との価格差がまだ回復していない品目がある。



観光・県産品の振興

コロナ禍以降は、観光客の入込数は回復。2023年度の県産品の輸出額が過去最高を更新。



居住率 10.3%